

東北地方 3か月予報

(9月から11月までの天候見通し)

平成25年8月22日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

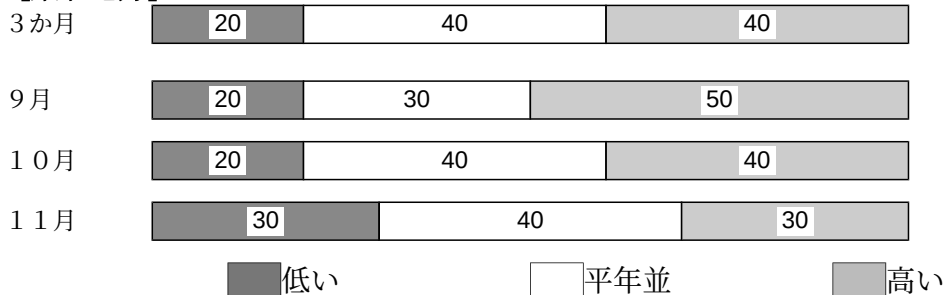
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

11月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

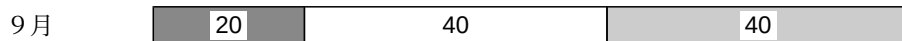
<<気温>>

[東北地方]

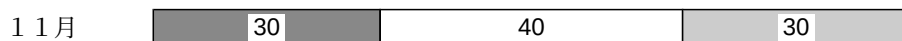
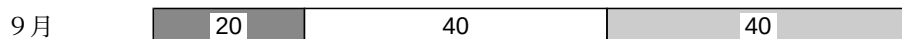
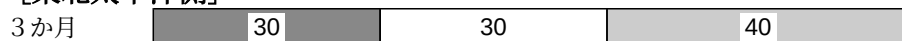


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない □ 平年並 ■ 多い

<次回発表予定等>

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月23日

3 か月予報：9月25日（水） 14時

寒候期予報：9月25日（水） 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	９月	１０月	１１月	９月～１１月	９月	１０月	１１月	９月～１１月	９月	１０月	１１月	９月～１１月
青森	19.3	13.1	6.8	13.1	122.7	103.9	137.7	364.3	158.4	149.7	87.6	395.6
深浦	19.1	13.5	7.7	13.4	162.9	155.4	146.9	465.2	152.3	131.2	64.9	348.5
むつ	18.3	12.4	6.5	12.4	170.1	109.8	117.4	397.2	144.7	159.0	102.9	406.5
八戸	18.9	13.0	6.9	13.0	167.6	87.2	62.0	316.8	143.6	161.3	133.3	438.2
秋田	20.4	14.0	7.9	14.1	160.3	157.2	185.8	503.3	153.8	145.4	82.7	381.9
盛岡	18.7	12.1	5.9	12.2	160.3	93.0	90.2	343.5	123.7	145.8	116.9	386.4
大船渡	19.5	14.0	8.3	13.9	201.8	140.7	94.1	436.5	116.3	140.7	134.9	391.8
宮古	18.8	13.3	7.8	13.3	213.7	125.7	80.1	419.5	128.0	155.2	147.3	430.5
仙台	20.7	15.2	9.4	15.1	187.5	122.0	65.1	374.6	121.2	148.6	139.6	409.3
石巻	20.1	14.5	8.5	14.4	143.2	119.2	66.6	329.0	133.4	155.7	147.5	436.6
山形	20.1	13.6	7.4	13.7	127.2	92.4	84.5	304.0	128.7	132.1	99.2	360.0
新庄	19.4	12.7	6.4	12.8	144.4	156.6	188.7	487.6	119.0	105.1	62.3	286.5
酒田	21.1	15.1	9.3	15.2	162.1	180.5	225.0	567.6	150.7	141.5	81.9	375.6
福島	21.1	15.1	9.2	15.1	160.3	119.1	65.5	344.9	114.2	135.8	128.3	378.4
若松	20.3	13.5	7.1	13.6	136.9	100.1	78.9	315.9	132.1	121.5	86.8	340.4
白河	19.4	13.5	7.8	13.6	205.8	135.6	69.8	411.1	113.6	138.1	144.8	396.5
小名浜	21.5	16.4	11.1	16.3	188.2	173.8	82.4	444.4	139.5	152.7	160.5	452.6

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	９月	１０月	１１月	９月～１１月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.5～+0.3	-0.3～+0.4	-0.3～+0.5	-0.2～+0.3
	東北日本海側	-0.4～+0.4	-0.3～+0.4	-0.3～+0.5	-0.2～+0.3
	東北太平洋側	-0.5～+0.3	-0.3～+0.5	-0.3～+0.5	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	89～110	81～107	85～105	89～107
	東北日本海側	83～111	84～109	93～105	93～112
	東北太平洋側	84～117	76～108	69～113	87～110
日照時間平年比(%)	東北地方	95～109	99～105	97～105	97～104
	東北日本海側	97～108	100～103	100～108	96～104
	東北太平洋側	95～109	101～105	94～101	98～103

（３）接近する台風の平年値

	９月	１０月	１１月
東北地方	0.9	0.4	0.0

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ３３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（9～11月）

平成25年8月22日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

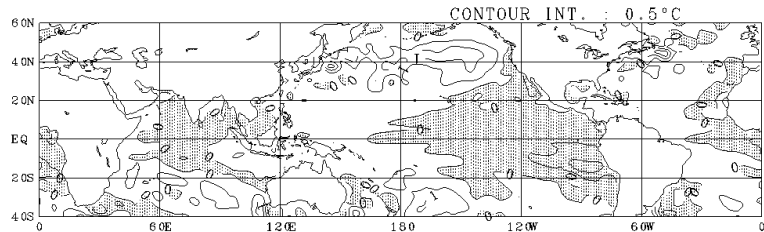
9～11月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
9月	気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
10月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
11月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

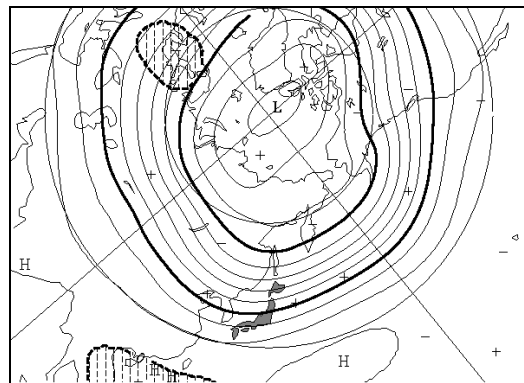
熱帯域の海面水温(上図)は、インドネシア付近から西部太平洋では平年より高く、インド洋では平年より低い予想。中・東部太平洋では平年より低く、ラニーニャ現象に近い状態だが、この低温傾向は次第に弱まる見込み。

対流活動(図略)は、海面水温が高い西部太平洋熱帯域で平年より活発となり、太平洋高気圧が平年より強い。また、赤道よりも北側で対流活動が活発な傾向が見られ、亜熱帯ジェット気流は平年より北に偏って流れる見込み。

500hPa 高度(中図)は、一部を除き正偏差で、亜熱帯ジェット気流が北に偏ることに対応して中緯度で平年より高度が高く、日本付近は暖かい空気に覆われる。3か月平均気温は高い傾向。



3か月平均の海面水温偏差の予想図
等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

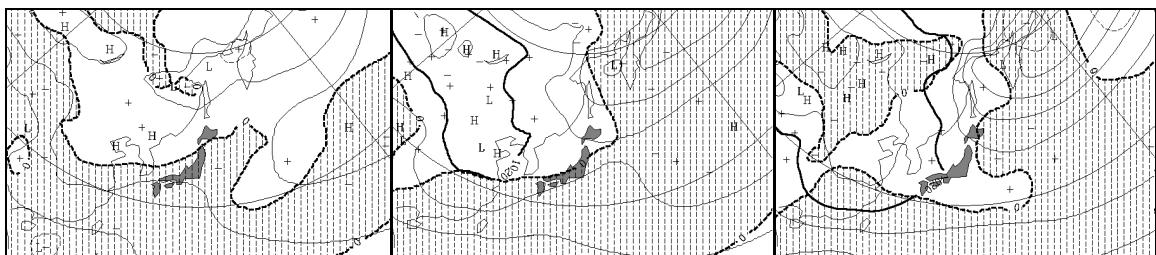
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

9月：中国東北区から北海道にかけて正偏差、本州付近から日本の南にかけて負偏差。フィリピン付近の対流活動が活発であることから、太平洋高気圧が日本の東で平年より強まると見られ、日本の西は気圧の谷となる。南からの暖かく湿った空気が流入しやすいことから、残暑が厳しく、前線の活動が活発となる時期がある見込みで、降水量は多い傾向。東北地方は、天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ曇りや雨の日が多い。

10月：中国東北区から北日本にかけて正偏差、日本の東から南にかけて広く負偏差。東北地方は、天気は数日の周期で変わるが、大陸から進んでくる移動性高気圧に覆われやすく晴れの日がやや多い見込み。亜熱帯ジェット気流が平年より北に偏って流れるため、寒気の影響を受けにくく暖かい空気に覆われる。高温傾向を見込む。

11月：日本付近は正偏差、日本の東と南シナ海は負偏差。亜熱帯ジェット気流が日本の西で北に蛇行し、日本の東で南に蛇行するため、北からの寒気の影響を受ける時期があると見られる。西高東低の冬型の気圧配置が現れるようになり、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



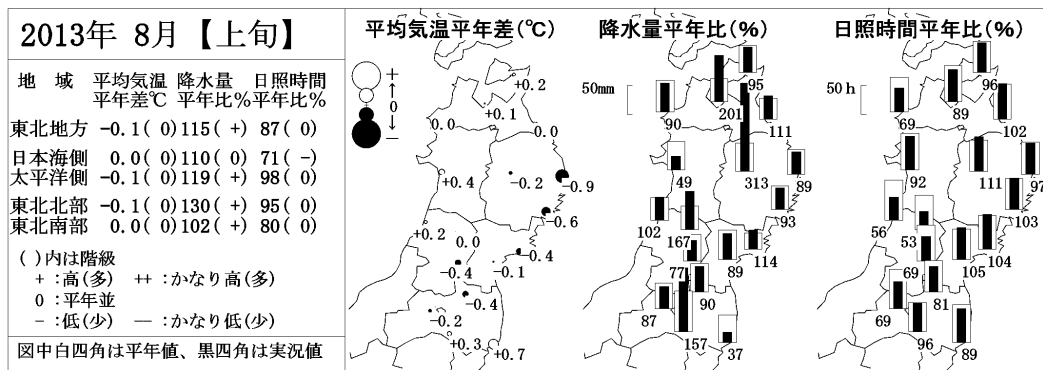
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から9月、10月、11月。実線は海面気圧（間隔4hPa）、点線は偏差（間隔1hPa）。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

8月上旬：この期間、前線や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変わった。1日から2日にかけて、前線や気圧の谷の影響で秋田県、岩手県、宮城県、福島県で大雨となった所があった。5日から6日にかけて、上空の寒気や湿った気流の影響で各県で大雨となり、5日は福島県で日降水量が100mmを超えた所があった。9日は大気の状態が非常に不安定となって東北北部で大雨となり、秋田県と岩手県で日降水量が200mmを超える記録的な大雨となった所があった。気温は、期間の前半は平年より低く、期間の後半は平年より高かった。

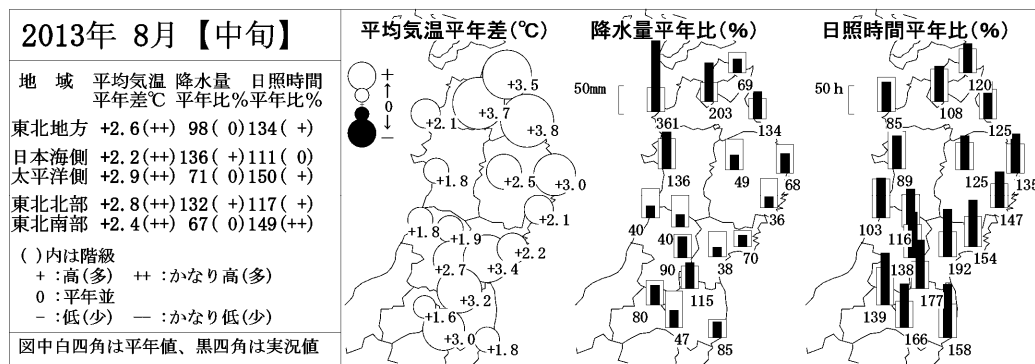
平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



8月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

8月中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かった。各県で日最高気温が35℃を上回るなど気温がかなり高い日が続いた。大気の状態が不安定となり、11日は秋田県で、16日は福島県で大雨となった所があった。19日から20日にかけて前線が東北地方を南下したため、各県で大雨となった所があった。

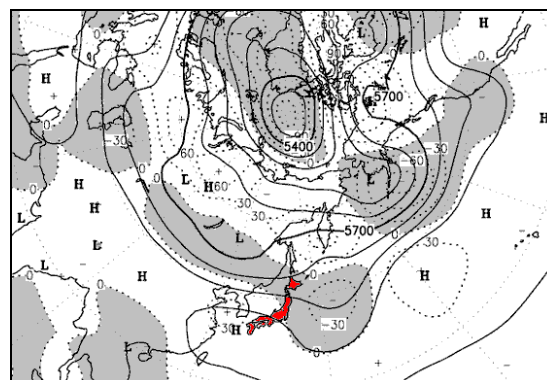
平均気温はかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。



8月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

8月（20日まで）：500hPa 高度は、中国東北区から日本の東にかけて負偏差となり、日本の東海上で偏差が大きかった。華中から東・西日本にかけては正偏差となった。太平洋高気圧は西日本を覆い、北日本は気圧の谷となった。東北地方には太平洋高気圧をまわりこんで暖かく湿った空気が流入しやすく、記録的な大雨となった所があった。中旬は太平洋高気圧とチベット高気圧がともに強まり、日本の広い範囲で気温がかなり高かった。



8月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は高度（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 30m）。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
9 月	15.8	10.3	15.4	12.3	12.6	11.4	12.4	11.2	12.8	10.8	11.5	10.5
10 月	16.2	12.6	15.5	13.8	15.8	10.2	16.5	7.8	14.3	9.8	15.6	7.6
11 月	9.8	16.9	8.9	18.1	14.3	11.9	18.0	6.2	10.9	11.9	16.3	6.6

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。